

東葉高速鉄道活性化協議会財務規程

(趣旨)

第1条 この規程は、東葉高速鉄道活性化協議会規約(以下「規約」という。)第14条の規定に基づき、東葉高速鉄道活性化協議会(以下「協議会」という。)の財務に関し、必要な事項を定めるものとする。

(予算)

第2条 協議会の予算は、構成自治体からの負担金、関係団体からの負担金、国からの補助金、その他の収入をもって歳入とし、協議会の運営及び事業に係る経費をもって歳出とする。

2 協議会の会長(以下「会長」という。)は、毎会計年度、予算を調製し、協議会に諮り、承認を得なければならない。

3 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。

4 会長は、第2項の規定により、予算が協議会の承認を得たときは、当該予算書の写しを船橋市長及び八千代市長に送付しなければならない。

(予算の補正)

第3条 会長は、会計年度の途中において、既定予算に補正の必要が生じたときは、これを調製し、協議会に諮り承認を得なければならない。

2 前項の規定により、補正予算が協議会の承認を得たときは、前条第4項の規定を準用する。

(予算の款、項及び目の区分)

第4条 歳入予算の款、項及び目の区分は、別表第1のとおりとする。

2 歳出予算の款、項及び目の区分は、別表第2のとおりとする。

3 会長は、当該年度において臨時かつ特別な理由があるときは、別表第1及び別表第2に定める以外の項及び目を定めることができる。

(予算の流用及び予備費の充当)

第5条 歳出予算の流用及び予備費の充当は、構成自治体の例によるものとする。

2 会長は、前項の規定により歳出予算の流用又は予備費の充当をしたときは、直近の協議会に報告しなければならない。

(出納及び現金等の保管)

第6条 協議会の出納は、会長が行う。

2 協議会に属する現金等は、会長が定める銀行その他の金融機関に、これを預け入れなければならない。

(協議会出納員)

第7条 会長は、協議会の事務局職員のうちから協議会出納員を命ずることができる。

2 協議会出納員は、会長の命を受けて、協議会の出納その他会計事務をつかさどる。

(収入及び支出の手続)

第8条 協議会の予算に係る収入及び支出の手続きは、構成自治体の例により行うものとする。

2 協議会の出納員は、次の各号に定める簿冊を備え、出納の管理を行うものとする。

(1) 予算差引簿

(2) 前号に掲げるもののほか、必要な簿冊

(決算等)

第9条 会長は、毎会計年度終了後、協議会の決算を調製し、監事の意見書を付して、協議会の承認を得なければならない。

2 会長は、第1項の規定により協議会の承認を得たときは、当該決算書の写しを船橋市長及び八千代市長に送付しなければならない。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成20年10月1日から施行する。

2 協議会が設立した年度においては、第2条第3項中「毎年4月1日に始まり」とあるのは「協議会設立の日から」と読み替えるものとする。

別表第1（第4条第1項）

款	項	目
1 負担金	1 負担金	1 負担金
2 国庫支出金	1 国庫支出金	1 国庫補助金
3 諸収入	1 諸収入	1 諸収入

別表第2（第4条第2項）

款	項	目
1 総務費	1 総務管理費	1 一般管理費
2 事業費	1 事業推進費	1 事業推進費
3 予備費	1 予備費	1 予備費